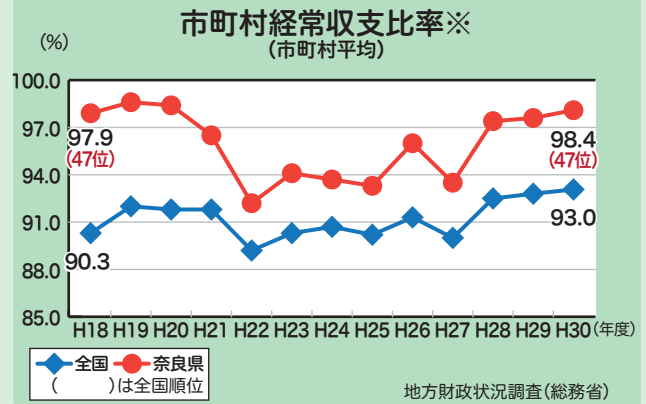
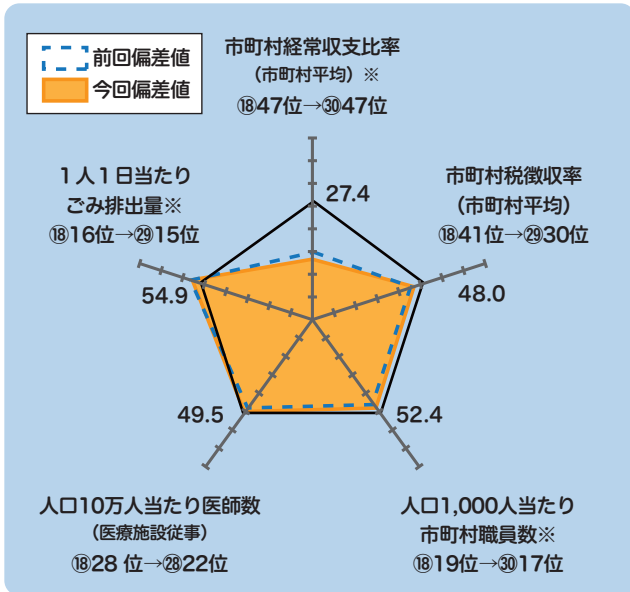
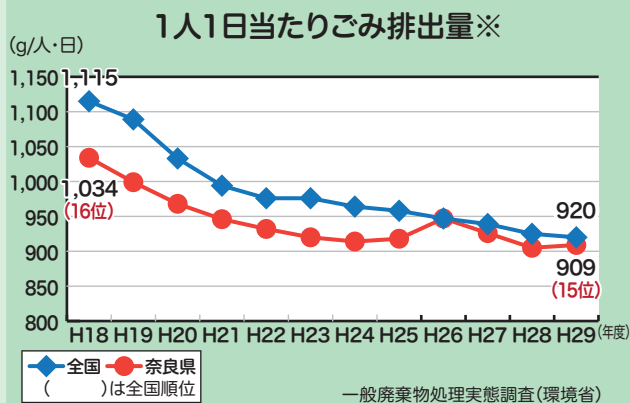




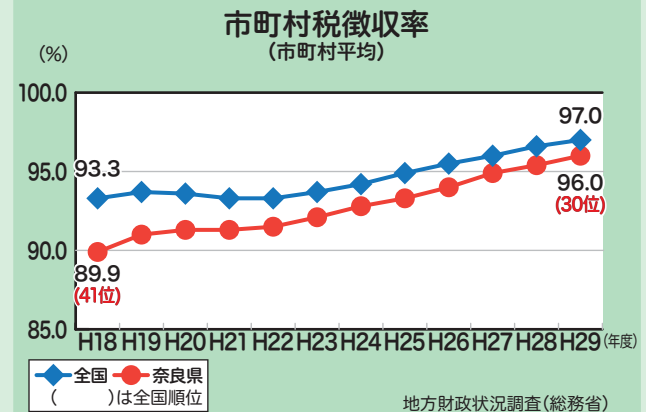
## 26. 奈良モデルの実行



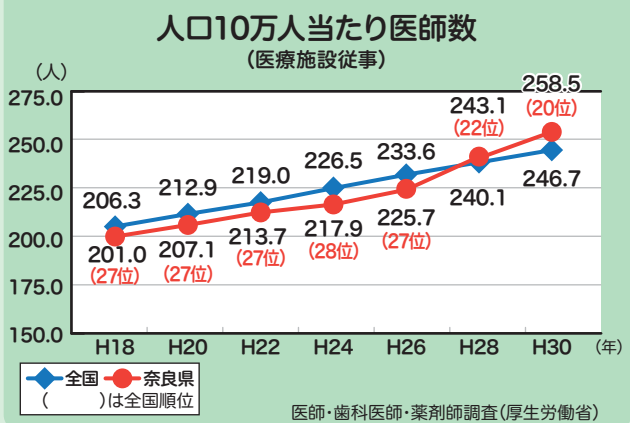
市町村経常収支比率(市町村平均)は、平成18年度以降、全国平均を上回っており、平成30年度は全国平均を5.4ポイント上回りました。



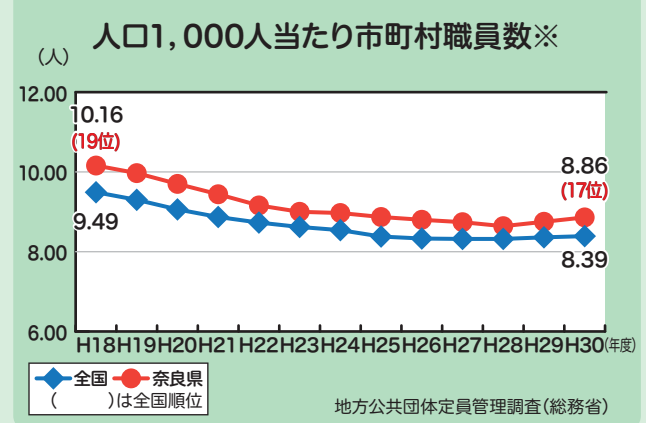
平成29年度の1人1日当たりごみ排出量は909gで、前年度から0.4%増加しましたが、過去10年間では6.1%減少傾向にあり、全国平均と同程度となっています。



市町村税徴収率は、各市町村の徴収対策への取組により、平成21年度以降、上昇を続けており、平成29年度は、前年度と比べて0.6ポイント上昇しました。



これまで全国平均を下回る水準で推移していましたが、県の総合的な医師確保対策や県立医科大学の中期目標達成に向けた取組により、平成30年は全国平均を上回りました。



人口1,000人当たり市町村職員数は、平成18年度と比較して1.30人減少していますが、全国と比べると高い状態が続いています。

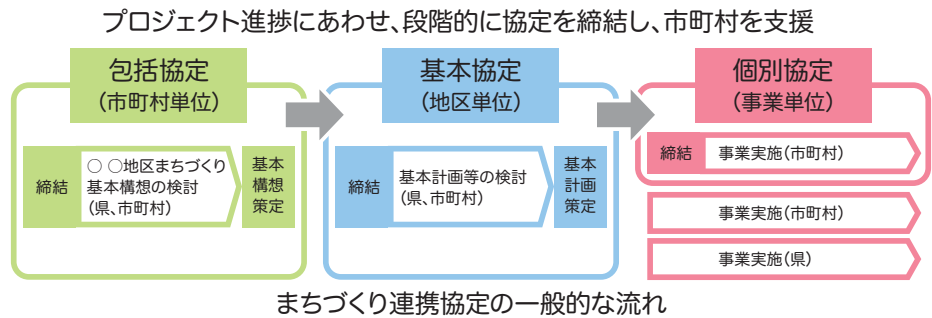
※は数値が低い方が良くなる指標です。



# (137) 市町村と連携したまちづくりの推進 (138) まちづくり協定の進捗状況と支援の状況

## これまでは

まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村において、その方針が、県のまちづくりに関する方針と合致するプロジェクトについては、県と市町村との連携協定を締結し、協働でまちづくりを進めてきました。



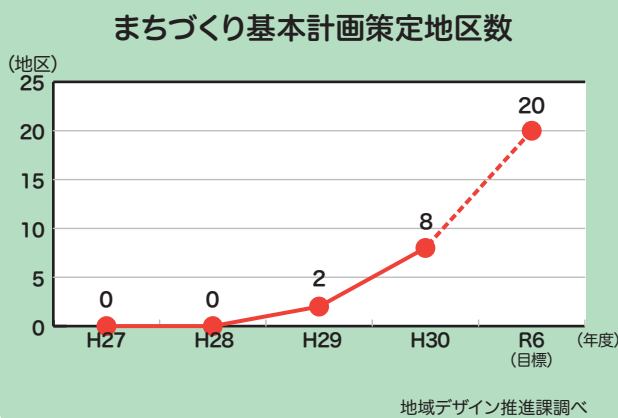
## もっと良くするために

- ・協働まちづくりの検討を深めるとともに新しいまちづくりの対象を検討します。
- ・まちづくりの進め方について、類似パターンを分類し共通のやり方を検討します。
- ・市町村のまちづくり構想をさらに後押しします。

## 目指す姿

令和6年度までにまちづくり基本計画策定地区数を20地区にします。

人口の急激な減少と高齢化が進んでいる中、これからは各地域の活力の維持・向上を図りながら、誰もが快適な生活環境を送れるようなまちづくりを考えていく必要があるね。



効果的かつ効率的にまちづくりを進めるため、奈良県独自の取組として、まちづくりのアイデアと熱意がある市町村と協働してまちづくりを進めているんです。



## 主な取組

| 取組                        | 令和2年度               | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------------------------|---------------------|-------|-------|
| まちづくり基本構想策定及び基本協定締結に向けた支援 | 各地区ごとのまちづくりの取組への支援  |       |       |
| 基本計画策定に向けた支援              | 各地区ごとのまちづくりの取組への支援  |       |       |
| 個別協定締結に向けた支援              | 個別事業ごとのまちづくりの取組への支援 |       |       |



# (139) JR新駅周辺のまちづくり (140) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり

## これまでは

JR新駅周辺(八条・大安寺周辺地区)の整備構想の検討を行っています。



近鉄郡山駅周辺のまちづくりの検討を行っています。

## もっと良くするために

### 【JR新駅周辺】

- ・ JR関西本線奈良駅と大和郡山駅の間に新駅を設置(京奈和自動車道(仮称)奈良ICに隣接)。
- ・ オフィス、研究所、学術施設の大規模な集積が可能となるよう、同駅周辺を最先端の情報技術を活用して高度な都市サービスが行き届いたまち(人工知能のまち・AIタウン)として整備。

### 【近鉄郡山駅周辺】

- ・ まちづくり基本計画をもとに、駅周辺施設全体計画の策定を進めます。

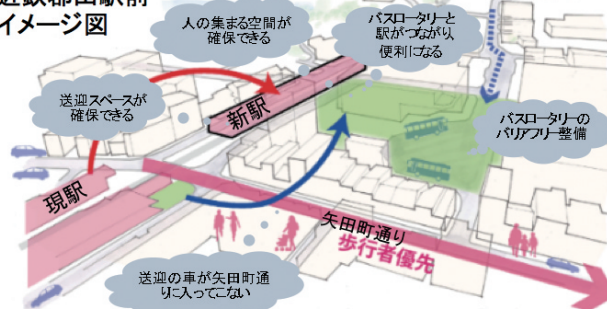
## 目指す姿

【JR新駅周辺】令和4年度末までにまちづくりのコンセプト・都市サービスを決定します。  
【近鉄郡山駅周辺】令和4年度末までに新駅・駅前広場の整備計画を策定し、令和5年度の新規事業化を目指します。

新駅やその周辺を整備することで、魅力あるまちづくりを目指しているんだね。



### 近鉄郡山駅前イメージ図



オフィス、研究所等の集積が可能となるよう、最先端の情報技術を活用したまちづくりや、城下町の街並みの魅力を残しつつ、安全に安心して歩けるまちづくりを進めます。



### 主な取組

| 取組             | 令和2年度                         | 令和3年度                         | 令和4年度 |
|----------------|-------------------------------|-------------------------------|-------|
| 奈良インターチェンジ周辺整備 | 都市計画道路西九条佐保線、JR関西本線高架化等の事業の実施 |                               |       |
| AIタウンの検討       | コンセプト、都市サービス、事業の検討            |                               |       |
| 近鉄郡山駅周辺整備の検討   | 駅自由通路の事業費算出                   |                               |       |
| 市町村とのまちづくり連携推進 | 駅前広場整備検討業務への補助                | 駅舎移設、自由通路、駅前広場の整備に向けた検討業務への補助 |       |



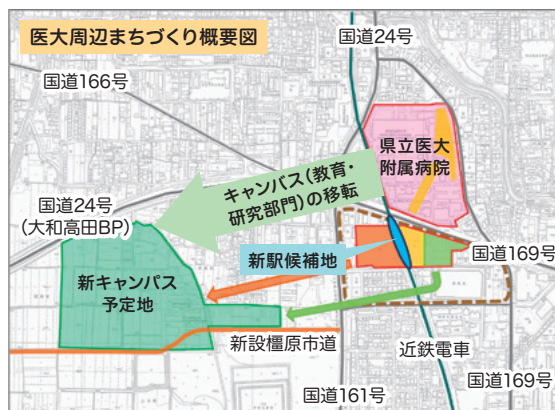
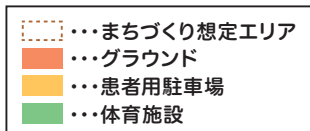
# (141) 県立医科大学周辺のまちづくり

## これまでは

医大附属病院周辺に新駅を誘致し、「医大隣接の利点を活かした新駅設置による賑わいのある健康増進のまち」を目指し、橿原市と協働して基本構想の作成を進めています。

### ○整備コンセプト

- ・医大との連携を活かした健康増進のまちづくり
- ・新駅の利便性を活かしたまちづくり



出典：橿原市白地図画像データを加工

## もっと良くするために

新駅設置のための近鉄側の条件は八木西口駅移設。同駅存廃の方針決定が令和2年度中に行えるよう協議・調整を加速します。

### 目指す姿

「健康増進の拠点となるまちづくり」、「地域住民・来訪者が、健康について学び、実践し、歴史を身近に楽しく交流する賑わいのあるまちづくり」を基本コンセプト案としてまちづくりを進めます。

県と橿原市が協働して、医大が隣接しているという利点を活かした、健康づくりの拠点となるようなまちづくりを考えているんだね。いつからまちの形になっていくんだろう。



新しい駅を設けるための調整やまちづくり計画の策定がスムーズに進めば、医大キャンパスが移転した後の令和7年度から工事にとりかかれそうです。



### 主な取組

| 取組         | 令和2年度                        | 令和3年度 | 令和4年度 |
|------------|------------------------------|-------|-------|
| 移転跡地等の活用検討 | 橿原市と協働した、まちづくり検討の推進          |       |       |
| 新駅の検討      | 新駅設置に向けた、橿原市・近鉄との協議、調査・検討の実施 |       |       |



# (142) 奈良県総合医療センター跡地のまちづくり

## これまでは

奈良県総合医療センター跡地のまちづくりの検討を進めてきました。

まちづくりのイメージ(例)

### ○交流

- ・暮らしの保健室での専門ボランティアによる相談
- ・子育て支援

### ○医療と介護の連携

- ・在宅診療支援
- ・訪問看護、訪問リハビリの充実

### ○地域住民による活動

- ・認知症の方の見守り
- ・子どもの見守り健康サポーターによる健康づくり活動

### ○健康増進と住宅

- ・ウォーキングプール、遊歩道等の整備
- ・サービス付き高齢者向け住宅等

奈良市と協同して、まちづくり計画を進める必要があります。

## もっと良くするために

- ・「高齢の方や障害のある方にやさしく、また、認知症の方の見守りもでき、乳幼児や子育て世代も対象とする、県・奈良市連携による地域包括ケアシステムの拠点づくり」をコンセプトとして、まちづくりを進めます。
- ・並行して、旧病院建物の除却工事及び関連調査等を着実に進めます。

## 目指す姿

令和4年度までに建物除却を完了し、新たなまちづくりの整備に着手します。

多様な人たちが、共に助け合いながら生きがいを持って住み続けられるような、医療・福祉・介護のまちづくりが進められているんだね！



### 導入機能(例)

1. 医療・介護・福祉サービスによる包括的なケア
2. 住まい
3. 交流
4. 子育て支援
5. 飲食・物販
6. 健康増進
7. 公園・広場機能
8. 障がい者・高齢者の就労・社会参加

このまちづくりは、県と奈良市が連携して進めていくことがとても重要です！必要となる導入機能や施設については、まちづくり協議会を開催し、周辺地域の住民の方々と意見交換も行われてきたんですよ！



## 主な取組

| 取組                    | 令和2年度            | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------------------|------------------|-------|-------|
| まちづくりに向けた跡地整備         | 建物除却工事及び関連調査等の実施 |       |       |
| まちづくりに向けた意見交換の実施      | まちづくり協議会の開催      |       |       |
| 奈良市による基本構想、基本計画等の策定支援 | 基本構想及び基本計画等の策定支援 |       |       |



# (143) 県域水道ファシリティ・マネジメント

## これまで

- ・奈良県では人口減少、高齢化が進み水需要も急激に減少する一方、水道管路・施設は老朽化が進んでおり、将来の県市町村の水道経営は大きな課題に直面します。
- ・県域水道一体化も視野に、県域水道経営効率化の必要性や広域連携の実現に向けて取り組みを提示してきました。



磯城郡における水道事業の広域化に関する覚書締結式

## もっと良くするために

上水道エリアと簡易水道エリアに分けて、県内市町村連携による業務の効率化、施設投資の最適化、水源の適正化を進め、最終的に県域水道一体化が達成できるよう、検討を進めます。

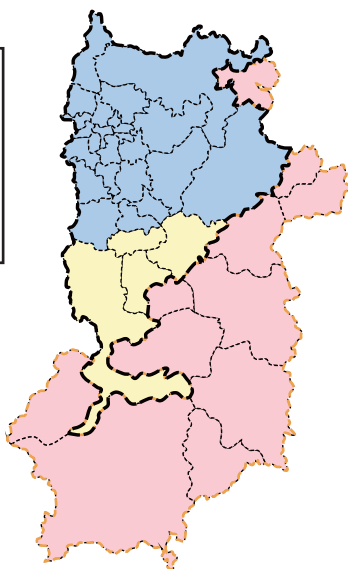
### 目指す姿

- 【上水道エリア】 令和8年度に28市町村水道事業と県営水道の統合を目指します。
- 【簡易水道エリア】 令和8年度を目途に広域的支援体制(受け皿体制)の構築を目指します。

奈良県では、大和平易を中心とした、上水道エリアと、東部や南部の中山間地域の簡易水道エリアに分かれてるんだね!



上水道エリア



簡易水道エリア

そのとおり!安全で安心な水道水の提供を維持していくため、上水道エリアでは上水道の統合を進め、簡易水道エリアでは支援体制を構築していきます。



### 主な取組

| 取組                               | 令和2年度                            | 令和3年度         | 令和4年度             |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------|-------------------|
| 【上水道エリア】<br>県域水道一体化に向けた市町村協議     | 県域水道一体化検討会での市町村協議                | 覚書締結<br>協議会設立 | 協議会での統合に向けた準備等に移行 |
| 【簡易水道エリア】<br>簡易水道業務支援事業による研究会の実施 | 国制度改正(水道施設台帳整備・地方公営企業法の適用)への対応支援 |               |                   |
|                                  | 広域的支援体制(受け皿体制)の検討                |               |                   |



# (144) ごみ処理広域化奈良モデル

## これまでは

県・市町村長サミットにおいて「ごみ処理広域化奈良モデル」の議論をスタートさせ、県は、市町村が連携して実施する「ごみの共同処理」に対して、技術・財政支援を実施してきました。



やまとクリーンパーク(H29.6完成)

- 県ごみ処理広域化補助金制度の創設(H28.4)
- 各地域の進捗
  - ・ やまと広域環境衛生事務組合(H29.6やまとクリーンパーク完成)
  - ・ 山辺・県北西部広域環境衛生組合(H28.4設立)
  - ・ さくら広域環境衛生組合(H28.4設立)
  - ・ 橿原・高市地域(橿原市、高取町、明日香村)
    - 一般廃棄物処理に関する協定締結(H30.11) 等

## もっと良くするために

市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対して支援し、ごみ処理の広域化を進めていきます。

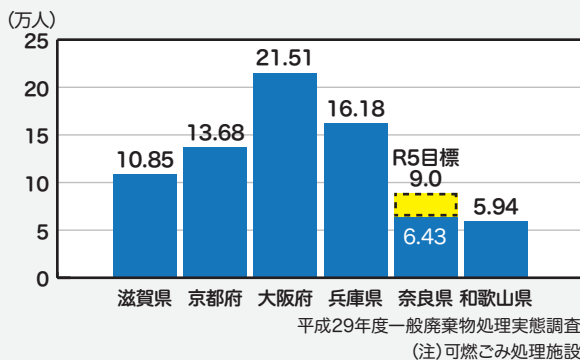
### 目指す姿

ごみ処理の広域化を進め、**県内のごみ処理施設数を平成27年度時点の25施設から令和5年度に15施設まで削減します。**

ごみ処理施設1施設当たりの人口が近畿府県で2番目に少ないね。それだけ小規模な施設が多いということで、複数の市町村によるごみの共同処理が課題になっているんだね!



### ごみ処理施設(注)当たりの人口



ごみ処理の安定的な継続の確保と市町村の行財政効率の大幅な向上のため、「奈良モデル」によるごみ処理の広域化に取り組んでいきます。



### 主な取組

#### 取組

令和2年度

令和3年度

令和4年度

ごみ処理広域化の促進

市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対し、技術・財政支援



# (145) 市町村財政健全化・財政支援の検討

## これまでは

県内市町村の財政状況は全国最下位レベルのまま推移しています。

経常収支比率の県内市町村平均(加重平均)は、平成18年度決算から平成20年度決算まで3年連続で全国47位でした。

平成21年度には全国最下位から脱却し、平成23年度決算では43位まで改善しましたが、平成30年度決算では、再び全国47位となりました。

財政硬直化(経常収支比率)が進んでいる上位5市町村

| H30県内ワースト順位 | 市町村名 | H30 経常収支比率 | H30全国順位(1741団体中) |
|-------------|------|------------|------------------|
| 1           | 御所市  | 105.9      | 1737             |
| 1           | 黒滝村  | 105.9      | 1737             |
| 3           | 天理市  | 104.5      | 1734             |
| 4           | 河合町  | 103.4      | 1732             |
| 5           | 五條市  | 103.2      | 1728             |

## もっと良くするために

市町村の財政状況が悪いと、奈良県をよくするための取組ができません。市町村の一段の踏ん張りが期待されますとともに、県は市町村の財政健全化に向けた取組をしっかりと支援します。

- 市町村の財政状況を市町村長や市町村議会議員、住民の人々によく知ってもらい、財政健全化に向けた意識や気運を醸成
- 市町村が財政健全化に具体的に取組めるよう、メニューを検討・提示

### (メニュー案)

- ・税源涵養、歳出の効率化、税徴収強化
- ・市町村保有財産の処分、有効活用
- ・市町村振興資金貸付金の活用
- ・奈良モデルによる連携事業
- ・工場誘致など地域経済活性化

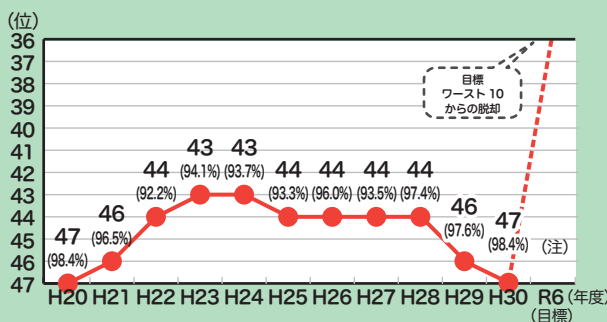
## 目指す姿

令和6年度までに市町村経常収支比率(市町村平均)の全国ワースト10から脱却します。

県内市町村の経常収支比率が悪化しているね。



市町村経常収支比率(市町村平均)の全国順位※



(注) ( )内は、奈良県市町村経常収支比率です。 地方財政状況調査(総務省)

※は数値が低い方が良くなる指標です。

経常収支比率は各団体の財政の弾力性を表していて、比率が高いほど財政の硬直化が進んでいることを表しています。県内市町村が全国平均を上回ってるかどうか等を健康診断表に例えて図式化したりして問題意識の醸成に努めているんです。県は財政健全化に取り組む市町村を積極的に支援していきます。



### 主な取組

| 取組              | 令和2年度  | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------------|--|-------|-------|
| 市町村の財政状況を分析し、提供 | 提供資料の内容充実(グラフ化・図表化、順位比較等ビジュアルな資料の充実)、「あなたのまちの財政状況」冊子による情報提供          |       |       |
| 市町村振興資金による貸付の実施 | 公共施設等の整備に必要な資金について、市町村振興資金による無利子または低利の貸付を実施                          |       |       |
| 奈良モデルの推進        | 奈良モデル推進補助金により、行財政運営の効率化に資する市町村同士の連携による取組に対して財政支援を実施                  |       |       |
| 市町村税の徴収強化       | 県と市町村が協働・連携し、税収確保に向けた取組を推進(徴収率の向上が進まない小規模町村に対するそれぞれの実情に応じた伴走型支援の実施等) |       |       |